



所長 あいさつ

気仙沼市立病院 副院長
総合患者支援センター
所長 星 達也

新緑が目には鮮やかな、清々しい季節となりました。皆様におかれましては、活気に満ちあふれて業務に励まれていることと存じます。

気仙沼市立病院総合患者支援センターも何名かのスタッフの入れ替わりがあり、新年度の活動をスタートさせております。

さて、3年以上にわたり世の中を混乱させている新型コロナウイルス感染症が感染症法の2類相当から5類扱いとなりました。かと言って感染症そのものがなくなったり変化したりしたわけではなく、皆様対応に苦慮している最中ではないかと拝察いたします。

気仙沼市立病院では当面の間以前からの対応を継続する方針ではありますが、コロナ患者の入院時の連携等で保健所の介入がなくなったことなどから医療機関同士の調整が求められ、スムーズに行かない場面が出てくる可能性が懸念されます。これまで以上に関連医療機関の皆様との協力が不可欠となって参りますので、皆様よろしくお願い申し上げます。

令和5年度のスタッフを紹介します

所長 星 達也（副院長）

【退院支援部門】

専従 小山 よし子（看護師）
3階西病棟 三浦 瑞貴（社会福祉士）
4階東病棟 亀卦川 葉（看護師）
4階西病棟 小野寺 秀幸（社会福祉士）
伊藤 芳美（看護師）
5階東病棟 伊藤 芳美（看護師）
5階西病棟 亀卦川 葉（看護師）
6階東病棟 三浦 和（社会福祉士）
三浦 瑞貴（社会福祉士）
6階西病棟 戸羽 敦子（社会福祉士）
岩渕 巧（社会福祉士）

副所長 小野寺み子（事務）

【入院時支援部門】

三浦 葉子（看護師）
神山 ひろみ（看護師）

【医療相談・がんサポート部門】

戸羽 敦子（社会福祉士）
岩渕 巧（社会福祉士）

【診療予約・紹介部門】

若林綾乃（事務）
菅野順子（事務）
小野寺恵美（事務）
藤井ひろ美（事務）



どうぞよろしくお願いいたします。

～ お知らせ・お願い ～

□新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴う対応について

○市立病院では5類移行後も引き続き、来院する皆様に次の事項について御協力をお願いします。

- ①病院には、多くの高齢者や免疫が低下し、重症化リスクの高い患者が入院・通院されていることから、来院される方は引き続きマスクの着用をお願いします。着用をお願いのため、お声をかけさせていただく場合があります。
- ②病院入口での手指消毒、検温など、その他の感染対策もこれまで同様に御協力願います。
- ③37.5℃以上の発熱のある方は、来院前の電話連絡に御協力願います。TEL 0226-22-7100

○面会について

院内感染防止のため、5類移行後も病院が来院をお願いする場合を除き、全病棟での面会禁止を継続します。なお、タブレット端末を使用した「オンライン面会」を行っていますので御利用願います。

○医療費について

全国の他の医療機関と同様、次のとおりとなります。

- ①外来治療費（検査・治療）は、通常の保険診療扱いとなり、自己負担が生じます。
- ②入院費も、通常の保険診療扱いとなり、原則として自己負担が生じますが、本年9月末までは、高額療養費制度の自己負担限度額から最大2万円が減額されます。
- ③①及び②にかかわらず、新型コロナ治療薬の費用は、本年9月末まで公費支援が継続され、自己負担はありません。

□受診の際は、医療機関を通して事前予約をお願いします

当院では、受診いただく際に、原則として医療機関を通じ、事前に予約していただくこととしております。「診療予約申込書」に、医療機関からの「患者診療情報提供書」や検査データ（必要時）を添えて、当センターまでファックスでお申込みをお願いします。

※「診療予約申込書」は当院ホームページ「総合患者支援センター」からダウンロード可能となっております。令和4年7月改訂・最新版をご使用願います。

□がん患者さんご家族が集える場所

サロン「hinami（ひなみ）」を再開します

悩みごとや心配ごと、情報交換など、気軽に話してみませんか？
途中からの参加や退出も可能です。

- ◇日時：毎月第2金曜日 午後2時～4時
- ◇場所：気仙沼市立病院 がんサロン室
- ◇対象：婦人科系がん、乳がんの患者さん及びご家族の方
（当院に通院している方、または、通院したことがある方）

お問い合わせ先：気仙沼市立病院 がん相談支援センター
電話0226-22-7100（代表）

☐ケアマネジャー受託情報の共有について

4月から、気仙沼・南三陸管内のケアマネ事業所様のご協力により、「ケアマネジャー新規受託情報」を提供いただき、必要時は患者様・ご家族様へ空き状況等をお伝えし、スムーズな相談につなげることが出来ております。

初めて在宅介護をすることになるご家族様、一人暮らしでの療養生活など、退院後の生活は不安が大きく、なかには、どこに相談していいかわからない、また、すぐにサービスが必要な場合どうしたらいいか？など、患者様により様々なケースがあります。

在宅介護の場合はケアマネジャーに相談することで、不安の軽減や退院後の生活への第一歩を踏み出せるきっかけにもなります。今後もスムーズな退院へのお手伝いができるよう取り組んでいきたいと思ひます。

総合患者支援センターの主な業務

総合患者支援センターは、患者さんの外来受診・入院から退院まで総合的に支援する部門です。

1 医療機関との外来予約・転院調整

医療機関からの外来予約受付や、かかりつけ医及び他医療機関へのご紹介・転院または受入れに関する連絡調整を行います。外来新患受診の方は、待ち時間短縮のため、医療機関から事前にご予約をおとりいただいた上で、来院されますようご協力お願いします。

2 入院患者さんの退院に向けた支援・調整

入院早期から退院後の生活を安心してお過ごいただくために、病棟ごとに退院支援のスタッフを配置してご相談に応じています。患者さんとご家族に寄り添いながらご支援をいたします。利用が可能な制度や専門の窓口のご紹介など、地域の医療・福祉・行政機関及び院内外の方職種と連携して医療的面と社会的側面の双方からご支援をいたします。

3 医療相談

病気やけがにより、健康な時にはなかった様々な心配・不安が出てくることがあります。医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）、看護師等が共に考え解決のお手伝いを行います。

相談時間：（事前予約制）平日9:00～17:00

お問い合わせ：（代表）0226-22-7100 （内線5229 ・ 5243）



4 がん相談

がんに関する不安や悩みを抱えた患者さんやご家族からのお話を伺い、必要に応じて医師・看護師・薬剤師などと調整をして、問題解決のお手伝いを行います。

相談時間：（事前予約制）平日9:00～17:00

お問い合わせ：（代表）0226-22-7100
（内線5229 ・ 2436）

例えば…

- ・がんに関する情報を知りたい
- ・退院後の療養生活について心配
- ・治療や手術に係る費用が心配
- ・セカンドオピニオンに関する情報を知りたい



令和4年度の業務実績

○ 相談支援業務

当院の医療相談部門は、医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）2名で対応しており、必要時は医師や看護師等のスタッフとともに患者様の支援を行っています。

令和4年度の相談件数は1,806件（令和3年度1,993件）でした。

相談内容は、病気の不安、医療費・生活費のこと、年金や労災、身体障害者手帳など社会保障制度の活用に関すること、介護・福祉サービスの利用方法、施設入所についてなど様ざまです。

医療ソーシャルワーカーは患者様の様々な不安や悩みに、社会福祉の立場からご相談をお受けし、支援を行っています。

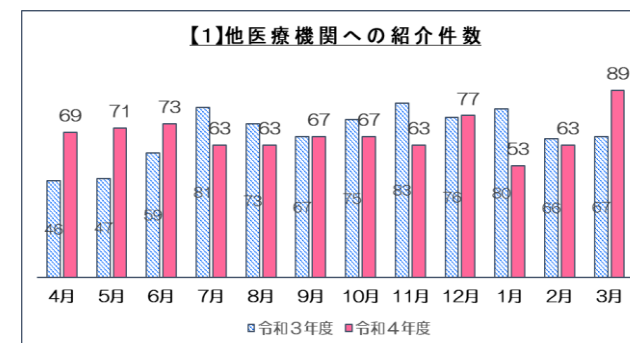
○ 前方支援業務

【1】他医療機関への紹介件数

令和4年度は年間818件/月平均 約68件となっており、令和3年度と比較すると年間件数は2件増加、月平均は同数となっています。

（参考）

令和3年度 年間820件/月平均 68件

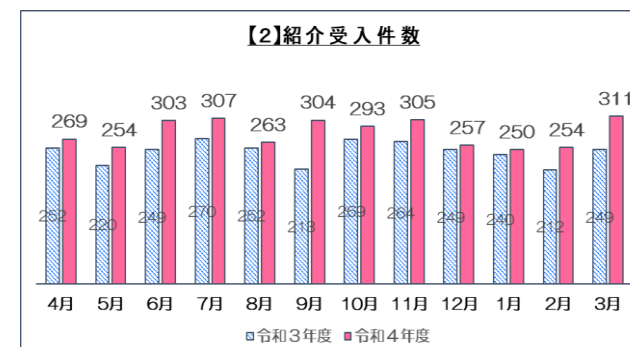


【2】紹介受入件数

令和4年度は年間3,370件/月平均 約281件となっており、令和3年度と比較すると年間件数が413件、月平均は約36件増加しています。

（参考）

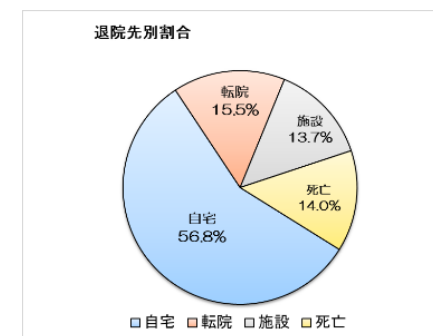
令和3年度 年間2,957件/月平均 約245件



○ 入退院支援業務

患者さん・ご家族が安心して退院できるよう入院早期から介入し支援・調整を行っています。支援終了後の退院先は自宅が56.8%となっています。

	R3年度	R4年度
新規介入受付け者数	1,909人	1,953人
入退院支援加算算定数	1,579人	1,513人
介護支援連携指導料件数	508件	576件
延退院支援者数	37,113人	36,981人



気仙沼市立病院

〒988-0181 宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢8番地2

総合患者支援センター TEL:0226-22-7100（代表）／FAX:0226-24-2328

診療予約・紹介部門

（直通）TEL:0226-22-7178

入退院支援部門

（直通）TEL:0226-22-8661